

令和2年11月19日

## 大会開催における 新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン

一般財団法人  
沖縄県高等学校野球連盟

沖縄県高等学校野球連盟では大会を開催するに当たり以下の感染防止対策ガイドラインを策定し、本県の状況を踏まえた感染防止対策を講じた上で大会に臨むこととする。

### 基本的な考え方

- 1 部員の安全・安心を最優先した大会とする。  
県の警戒レベルを指標に、大会運営を行う。
- 2 大会会場への入場者は、氏名、連絡先が把握でき、発熱などの体調異常が無いものに限る。
- 3 県の警戒レベルを指標に、観客の入場範囲を制限する。
- 4 部員、指導者、運営役員、審判、チーム関係者から感染、又は感染の疑いが生じた場合、別紙「大会前、大会中に関係者から感染者・濃厚接触者が発生したときの対応について」を基準に協議し対応する。
- 5 感染拡大の兆候やクラスターの発生があった場合は保健所等の専門機関と連携し、中止、延期等、の適切な処置を行う。
- 6 「新しい生活様式」を遵守し実施する。(3密の回避、手洗い、マスクの着用等)

### 事前対策

- 1 感染防止についての周知を徹底する。新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCONA)の登録推奨などをHP等で告知する。
- 2 大会参加部員は保護者の同意を得る事とする。
- 3 メディア関係者等については、最小限人数の入場をお願いする。
- 4 離島チームに関しては、移動、空港、宿泊先での感染対策に留意する。  
\* 宿泊人数、就寝時の形態、食事方法、共用施設(風呂・洗面所・トイレ等)、他団体との接触等について宿舎と協議し感染防止対策をとる。
- 5 会場管理は以下の通りとする。  
\* 会場入り口に消毒液、体温計(またはサーモグラフィー)、健康観察(体温)記録簿を設置する。  
\* 会場内、人の出入りのある個所には消毒液等を設置し、感染対策に留意する。  
\* 3密を極力避けるために、並ぶ場所の目印や注意書き等の工夫を行う。  
\* 選手控え場所(トイレ含む)に消毒液を設置し競技前後に消毒・清掃を行う。  
\* 記録室等、室内においては人数を減らし定期的な換気と消毒を行う。  
\* 観客席での観戦場所を指定し、原則移動しないよう協力をお願いする。

## 当日対策

- 1 大会関係者について健康観察と感染予防を確実に実施し大会運営を行う。
- 2 チームの責任において健康観察と感染予防教育を確実に実施し球場入りを行う。(記録表提出)
- 3 部員の家族に関しても健康観察と感染予防を確実に実施し入場をお願いする。(記録表提出)  
※ 下記4、5、6及び競技前後の座席消毒については観客にも同様の協力を求める。
- 4 健康観察で発熱など体調に異常が見られる場合、または以下の場合に入場を制限する。
  - \* PCR 検査陽性歴がある者や濃厚接触者で保健所等関係機関から外出等の許可が出ていないもの。
  - \* 来場日に下記を含む体調不良のあるもの。
    - ・発熱      ・強い倦怠感      ・咳、咽頭痛、息苦しさ等      ・味覚、臭覚異常
  - \* 過去14日以内に渡航制限のある地域への渡航や滞在していた事があるもの。
- 5 会場入りする際に遵守すべき事は以下の通りとする。
  - \* 手洗い・マスク着用・手指消毒・身体的距離の確保・3密回避を徹底する。
  - \* 大きな声での会話、応援(太鼓等、鳴り物の持ち込み)は禁止する。
  - \* 氏名・連絡先の記入と体温・体調の確認への協力をお願いする。
- 6 ドアノブや手摺など、主に参加者の手が触れる場所を定期的に消毒する。
- 7 熱中症対策
  - \* マスクの着脱を含め、熱中症対策を十分に行う。
  - \* こまめな水分補給を行う。飲物は、マイボトル、使い捨ての紙コップで提供し共有しない。
- 8 選手輸送方法に関しては3密にならないように分散移動等に努める。  
(バスを利用する場合は人数制限、座席配置や窓の開放等の工夫を行う)
- 9 ミーティングは学校に戻ってから行う等、競技終了後は速やかに会場を後にするよう努める。

## 感染に関わる報告

- 1 各学校、大会関係者からの感染に関わる報告は以下の所まで迅速に行う。
  - \* 大会実施日は各会場、それ以外は県高野連事務局
- 2 大会終了2週間は部員、指導者等の健康観察を継続し異常があれば県高野連事務局に報告する。
  - \* 参加者から感染報告があった場合は専門家を含め協議する。